

ラウンドテーブル 子ども・ユースワークをめぐる 日独対話 —子ども・若者の“第三の領域”とは?—

ラウンドテーブルでは、ドイツのドルトムント工科大学のヴェルナー・トーレ教授をはじめ、3名の研究者を招いて、子ども・若者との活動について、例えば次の点などを語り合います。

- 子ども・若者に関わる居場所や青少年センター、プレーパークなど、学校以外の場がなぜ必要なの？
- 支援の地域格差をどうやって乗り越えていったらいいの？
- 子ども・若者に関わるスタッフはどう育ち、どう支えられているの？
- ドイツでの支援体制はどのように整備されているの？



ラウンドテーブルの日程

ROUND
01

東京
2月11日(水)

● 場所: 希望丘青少年
交流センター・アップス
(東京都世田谷区船橋6-25-1-3F)
時間: 13:00~16:30

ROUND
02

京都
2月14日(土)

● 場所: 京都市ユースサービス協会
中央青少年活動センター
(京都市中京区東洞院通六角下ル
御射山町262)
時間: 13:00~16:30

ROUND
03

奈良
2月16日(月)

● 場所: 奈良教育大学
寧楽館
(奈良市高畑町番地なし)
時間: 13:00~16:30



ドイツからの訪問者

- ヴェルナー・トーレ(Werner Thole) 教授(ドルトムント工科大学)
専門: 子ども・若者支援の理論と実践、子ども期の教育
- ユリアン・ゼーマー(Julian Sehmer) 教授(応用科学芸術大学)
専門: 子ども・若者支援、社会教育学に関連する理論・方法論
- シュテファニー・ジモン(Stephanie Simon) 研究員(ドルトムント工科大学)
専門: 子ども期研究、社会的格差と貧困

参加を希望される場合は、右のフォームよりお申し込みください。
ラウンドテーブルに関するお問い合わせは、生田(ikuta@cc.nara-edu.ac.jp)
か櫻井(yuko-sakurai@cc.nara-edu.ac.jp)までお願いいたします。



【主催】子ども・若者支援専門職養成研究所(生田 周二)

日本学術振興会 科学研究費補助金(基盤研究(B)):子ども・若者支援従事者の専門性構築の
課題と展望—「支援の重層性」の視点から—(研究代表 生田周二:研究期間2022~2025年度)